

中津市子ども医療費助成事業について

《要 旨》

・制度改正までの経緯

- ◆助成対象を小・中学生の通院分まで拡大するために、これまで以下のような課題を検討してきた。
 - ・安易な診療による医師の負担が増加する。
 - ・小児救急体制が維持できなくなる可能性がある。
 - ・無償化よりも予防医療の充実を優先すべき。
 - ・将来に亘る大きな財政負担が生じる。
- ◆検討・協議を重ねてきた結果、関係者にご理解をいただいたことから拡大する方向となった。

・実施時期について

システム改修等の実施に至るまでの準備期間を考慮して、H31年7月実施とした。

《制度内容》

助成対象者

(改正前)

区分	入院	通院
就学前	○	○
小中学生	○	×



(改正後)

区分	入院	通院
就学前	○	○
小中学生	○	○

《助成対象者条件》

- (1) 中津市に住民票があること
- (2) 健康保険証を持っていること
- (3) 生活保護受給者ではないこと

《平成30年5月1日現在の児童生徒数（学校基本調査から）》

	(人)
小学生	4,808
中学生	2,234
計	7,042

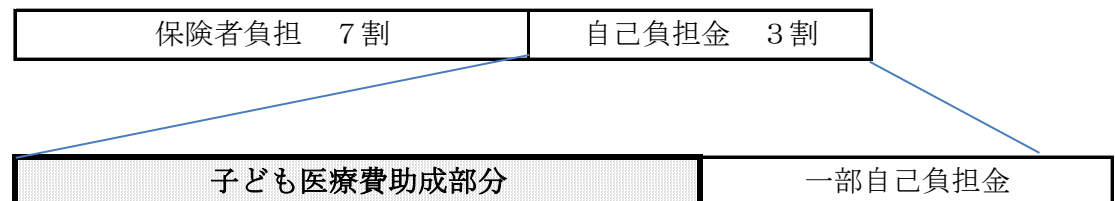
一部自己負担金

区分	入院	通院
就学前	無	無
小中学生	無	有

ひと月に1医療機関で通院1回につき500円（4回まで）

《小中学生通院の医療費負担イメージ》

保険診療の医療費負担



給付（助成）方法

県内医療機関	現物給付
豊前市・上毛町・築上町・吉富町	現物給付
上記以外の県外医療機関	償還払い

施行期日

平成31年7月1日から施行（小中学生の通院）

小中学生の通院にかかる子ども医療費試算額

(千円)

自己負担分（3割負担）	168,000
一部自己負担分	35,000
助成見込額	133,000

《参考》県内の助成状況（H30年6月現在）

	未就学児		小・中学校				15歳未満人口 (H. 30. 6月 時点)	小学校 7歳 ～12歳 児童数※	中学校 13歳 ～15歳 生徒数※
	入院・通院		入院		通院				
	助成 (支払方法)	一部自己負担	助成 (支払方法)	一部自己負担	助成 (支払方法)	一部自己負担			
大分市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	未実施		65,660人	26,370人	13,142人
別府市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	未実施		13,270人	5,394人	2,688人
中津市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	未実施		11,470人	4,808人	2,234人
日田市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	無	8,383人	3,578人	1,752人
佐伯市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	無	7,838人	3,211人	1,682人
臼杵市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	有	4,196人	1,803人	894人
津久見市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	無	1,682人	695人	379人
竹田市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	無	1,991人	839人	414人
豊後高田市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	無	2,464人	1,005人	513人
杵築市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	無	3,428人	1,418人	691人
宇佐市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	未実施		6,717人	2,778人	1,373人
豊後大野市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	無	3,780人	1,575人	774人
由布市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	無	4,218人	1,783人	825人
国東市	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	無	2,734人	1,112人	596人
姫島村	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	無	171人	66人	36人
日出町	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	有	3,933人	1,646人	839人
九重町	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (償還払い)	有	1,010人	429人	187人
玖珠町	◎ (現物給付)	無	◎ (現物給付)	無	○ (現物給付)	無	1,831人	723人	354人

※ ◎は県補助対象

※ ○は市独自助成

※ 児童数・生徒数は平成30年度学校基本調査から（H30. 5. 1現在）